

皆様に親しまれる徳島南環状へ

とくしまみなまかんじょうどうろ
～ 第5回 徳島南環状道路 景観検討委員会(最終)の開催について～

1. 概要

徳島河川国道事務所で整備を進めている徳島南環状道路について、多くの方に親しまれる道路空間を創出するために道路景観を検討する「徳島南環状道路 景観検討委員会」の第5回(最終)を開催します。

2. 開催日時、場所

開催日時:平成20年 3月26日(水) 9:30～12:00
開催場所:国土交通省徳島河川国道事務所

今回の委員会は、平成19年2月より4回にわたり議論してきた徳島南環状道路の景観検討を行った各具体箇所の結果を総括するとともに、最終とりまとめを行う最終回となります。このとりまとめ結果については、今後記者発表させていただきます。

過去の委員会では、景観整備方針及び景観検討項目の確認をはじめ、^{あくい}鮎喰川渡河橋梁や文化の森総合公園周辺等での景観への配慮事項や、^{かんおんじ}観音寺高架橋、^{かみはらまん}鮎喰新橋、上八万トンネル、附属施設の基本方針やデザイン案、橋梁及び道路附属物の色彩、道路緑化に関する検討等について議論されました。

なお、委員会は常時傍聴可能ですが、撮影につきましては冒頭のみとさせていただきます。実施後は協議内容をホームページにて公表する予定です。

URL : <http://www.toku-mlit.go.jp/road/b/jigyoutokusimaring/keikan/index.htm>

平成20年 3月25日
国土交通省 四国地方整備局 徳島河川国道事務所

【問い合わせ先】

徳島河川国道事務所

副所長 ^{おかむら}岡村

TEL:088-654-2211(代表)
^{たまき}環

徳島河川国道事務所

道路調査第一課 ^{いしはら}石原
課長

TEL:088-654-9612(直通)
^{まさのり}雅規

第1回委員会 (H19. 2. 27)

◆主な議題

事業進捗の把握

検討項目/スケジュールの提案

全体景観整備方針の策定

鮎喰新橋の橋梁形式

H18年度詳細設計構造物の報告

文化の森周辺修景計画

第2回委員会 (H19. 7. 24)

◆主な議題

第1回委員会の確認

平成19年度検討項目について

景観整備方針(案)について

橋梁色彩方針について

第3回委員会 (H19. 11. 19)

◆主な議題

観音寺高架橋の基本形式比較案

上八万トンネル坑口デザイン

鮎喰新橋の細部デザイン

道路付属施設の基本方針

鋼製橋梁の色彩

第4回委員会 (H20. 2. 4)

◆主な議題

観音寺高架橋の細部デザイン

上八万トンネル壁面部デザイン

鮎喰新橋の色彩デザイン

道路付属施設の細部デザイン

道路付属物の色彩

道路緑化

第5回委員会 (H20. 3. 26)

◆主な議題 (予定)

徳島南環状道路景観検討委員会とりまとめ

◇徳島南環状道路景観整備方針

景観整備テーマ

～ ^{MIZU}水と ^{MIDORI}緑と ^{MIRAI}未来をつなぐ ^{MINAMI}南環状道路～

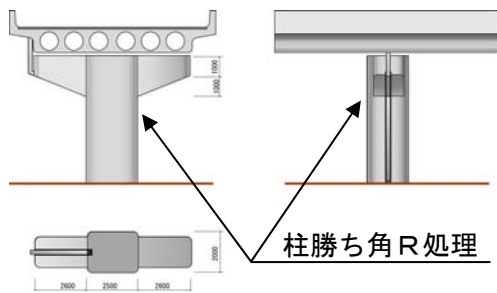
概 要

徳島南環状道路は、眉山に代表される自然豊かな景観をもつ地区を通過することから、市民や来訪者に都市の顔とは異なる一面を体感する路線として位置付けながら、以下の全体方針を基に皆様に親しまれる景観を備えた道路整備を目指します。

- 「周囲の景観に馴染み、融け込む構造物を整備」
- 「豊かな表情を持つ徳島の自然を提供する道路空間創り」
- 「ゾーン毎の特性を活かしながら統一感や一貫性を確保した整備」

○観音寺高架橋

橋梁基本形式であるPC中空床版橋^{ちゅうくうしゅうばんきょう}を基に桁及び橋脚の細部デザイン検討が行われ、コーナー部にR形状を施すことによって柔らかな印象となる「角R処理デザイン」^{かど}を推奨案としました。



主な決定事項：橋梁基本形式：PC中空床版橋 橋脚デザイン：柱勝ち角R処理デザイン
桁デザイン：角R処理デザイン 排水処理：スリット内埋設

○鮎喰新橋

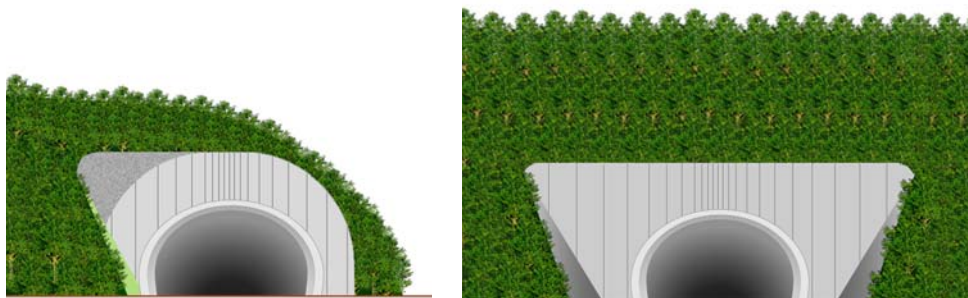
開放的な鮎喰川の河川空間に融け込み、遠景の山並み等への眺望を阻害しない、シンプルなシルエットをもつ、「鋼6径間連続細幅箱桁」^{ほそはばほこげた}が橋梁基本形式として推奨されました。



主な決定事項：橋梁基本形式：鋼6径間連続細幅箱桁橋 橋脚デザイン：柱勝ちデザイン
防護柵デザイン：半壁高欄

○上八万トンネル

トンネル坑口の壁面による圧迫感や進入抵抗感を軽減するために、粗面テクスチャーとグラデーション間隔の縦スリットを施したデザイン案が推奨されました。



非対称部

対称部

主な決定事項：壁面デザイン：粗面テクスチャー+グラデーション縦スリット

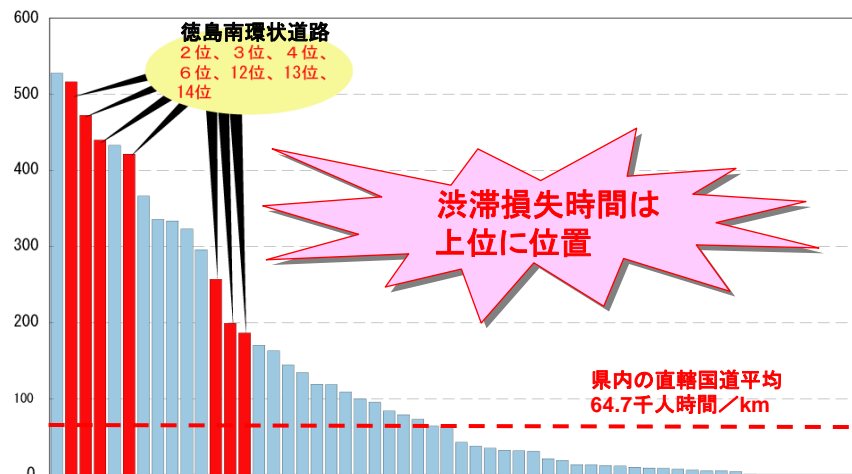
徳島南環状道路 景観検討委員会 委員名簿

	氏名	勤務先
委員長	山中 英生	徳島大学 大学院ソシオテクノサイエンス研究部 教授
委員	鎌田 磨人	徳島大学 大学院ソシオテクノサイエンス研究部 准教授
	花岡 史恵	(有)環境とまちづくり
	渡辺 健	徳島大学 大学院ソシオテクノサイエンス研究部 助教
	真田 純子	徳島大学 大学院ソシオテクノサイエンス研究部 助教
	綿谷 忠雄	徳島商工会議所 専務理事
	金沢 敏雄	徳島県 県土整備部 高規格道路推進局長
	日下 正義	徳島市 開発部長

事業概要

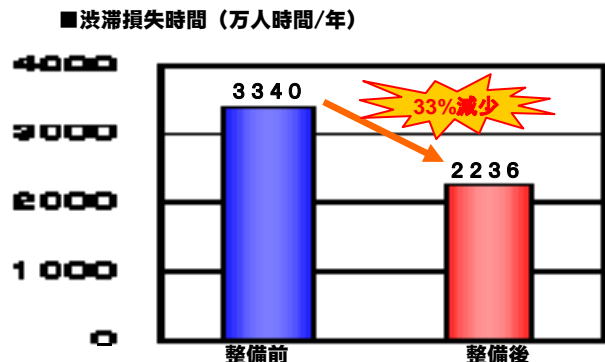
- 徳島市内の慢性的な交通渋滞の緩和及び交通安全の確保を主な目的とした徳島環状道路全35kmの一部(9.5km)を構成する自動車専用道路です。
- 昭和61年度に事業着手し、現在までに国府町観音寺から延命地区における側道2.6kmを供用中こくふちょうかんのんじ えんめいです。
- 早期の全線供用を目指して事業を推進しています。

徳島県内の渋滞損失時間(千人時間/km) (直轄国道を渋滞の多い順に並べたグラフ)

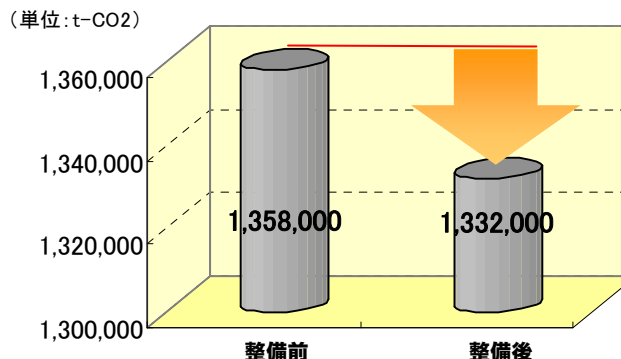


事業成果

徳島南環状道路の完成によって、
渋滞損失時間が約33%減少



徳島市中心部の渋滞が解消されれば、
CO2排出量が約26,000t-co2/年減少



約26,000t-co2/年の
削減効果あり

森林面積にして24.1km²
徳島中央公園の面積(0.2km²)の
約121倍の森林の吸収量と同じです